

## 7 天理市

### 【基本情報】

人口 68,286 人

面積 86.37 km<sup>2</sup>

新幹線（新大阪駅）まで 90 分、飛行場（大阪国際空港）まで 120 分。

市内には、卑弥呼の里を思わせる黒塚古墳から出土した多数の三角縁神獣鏡や大型の埴輪がそのままの姿で見つかった赤土山古墳等の数多くの文化財をはじめ、日本最古の道“山の辺の道”が現存する等、歴史と自然が一体となっている。

### (1) モデル事業開始時の地域の状況

#### ア 地域における子ども・若者の状況

本市では、天理市自立支援協議会・天理市要保護児童対策地域協議会・適応指導教室（学科指導教室）・天理市子育て支援連絡調整会議等、それぞれの部署で、不登校・虐待・困難を有する子ども・若者に対して支援を行ってきた。しかし、義務教育終了後の不登校等の支援は、施策として行われていない状況である。また、義務教育終了後のいわゆるニートやひきこもり、不登校等の実態についても十分に把握できていない。小中学校における年間 30 日以上欠席者の割合は、県・全国平均をいずれも上回っており、不登校・生活の悩み相談件数も年間 130 件延べ回数 1000 回を超える状況である。

#### イ 総合相談窓口の設置状況

- ・ 設置時期：平成 25 年度中に設置予定。
- ・ 主たる支援対象：いわゆるニート、ひきこもり、不登校の子ども・若者及びその関係者。0～39 歳を対象とする。
- ・ 設置主体：天理市
- ・ 総合相談窓口名称：夢てんり
- ・ 役割：子ども・若者の自立育成支援に関する相談に応じて、関係機関の情報提供、関係機関へのリファーを行う。

### (2) 今年度事業の課題と目標

#### ア 地域協議会設置に向けた課題

子ども・若者の自立育成支援については行政内部でそれぞれの部署が対応してきた経過はあるが、対応が単一部署内のみで行われ、横の連携がなされていない状況である。また外部団体との連携も同様で、外部団体の事業内容の把握も十分でない。

#### イ 課題を克服するための今年度の目標

行政の縦割り意識の払拭と、各部署の支援内容を相互に把握し、共通理解を図ることから始める。また、外部団体の状況についても同様である。各関係機関がお互い顔の見える関係とな

り、地域協議会で連携を図っていく上での素地作りを行う。

(3) 今年度の実施内容

天理市では地方企画委員会 2 回、ユースアドバイザー定例会 7 回、ユースアドバイザー講習会 8 回を実施した。

	平成 24 年						平成 25 年		
	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地方企画委員会	○								
ユースアドバイザー定例会議		○							
ユースアドバイザー養成講習会		○							

ア 地方企画委員会

市の関連部局職員及び民間支援団体の代表者を集めて実施した。当モデル事業についての理解を深め、地域協議会設立に向けての方針確認を行うことを目的とし実施した。

図表 78 天理市における地方企画委員会実施内容

回	日程	実施内容	
1	7月17日	議 題	1. 地域協議会設置モデル事業について 2. 不登校、いわゆるニート、ひきこもりの現状と課題について 3. 今年度の事業の進め方について
		概 要	・子ども・若者支援推進法の概要やその目的について説明。地域協議会を設置し、子ども・若者支援を推進することの必要性等について、相互理解を図った。
		運営の工夫、成果	・子ども・若者白書の若年無業者、ひきこもり、フリーター等の状況についてのデータを用いて天理市における困難を抱える子ども・若者を推計し、地域協議会の必要性を訴える説明材料とした。 ・オブザーバーである奈良県くらし創造部青少年・生涯学習課より、地域協議会の設置目的の説明を行うとともに、県内の地域協議会設置状況や反省点についても共有し、地域協議会の設置にむけての課題、目標の理解を促進した。
2	3月1日	議 題	・定例会議、ユースアドバイザー養成講習会の実施報告 ・地域協議会設置にむけて ・総合相談窓口設置にむけて ・次年度の事業の進め方について
		概 要	・定例会議、ユースアドバイザー養成講習会で実施した概要を説明。 ・定例会議で検討した地域協議会設置要綱案、個人情報取扱に関する同意書案を提案した。 ・次年度の事業の進め方について説明を行い、方向性を

回	日程	実施内容	
			確認した。
		運営の工夫、成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会議及びユースアドバイザー養成講習会の実施内容を説明することで実施成果について共有出来た。</li> <li>・予定している地域協議会の機能や体制について、地域協議会設置要綱案をもとに説明を行い、地域協議会の全体像を共有出来た。</li> <li>・地域協議会設置要綱案、個人情報取扱に関する同意書案について各関係者から率直な意見を収集出来た。今後の課題及び合意形成へのアウトラインを確認出来た。</li> </ul>

#### イ ユースアドバイザー定例会議

ユースアドバイザー定例会は、講習会と同日開催とし、構成メンバーが講習会で情報を共有した上で、定例会で意見交換を行った。また、地域資源や各機関・支援者が抱える課題について共通理解が図れた。全7回会議を設けて顔を合わせることで、各関係機関の関係性が深まった。地域協議会設立の方向性についても確認できる場となった。

図表 79 天理市における定例会議実施内容

回	日程	実施内容	
1	8月22日	議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関の強み、弱み、課題について</li> <li>・子ども・若者支援において関係機関が連携して支援する必要がある場面について</li> <li>・各関係機関の役割について</li> </ul>
		概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関の支援内容や強み、弱みについて情報を交換した。</li> <li>・各関係機関の日々の取組で課題となっていることを相互に共有するとともに、各関係機関が子ども・若者支援について貢献できる役割について認識を深めた。</li> </ul>
		運営の工夫、成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドカフェ形式を導入することで、機関の垣根を越えた顔の見える関係を構築することが出来た。</li> <li>・天理市における子ども・若者支援に関する社会資源について相互理解が出来た。</li> </ul>
2	9月18日	議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校中退者の支援について</li> </ul>
		概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校中退者に対して必要な支援、支援にあたっての課題について意見交換を行った。</li> <li>・各関係機関が高校中退者に対してどのような役割を担うことができるか検討した。</li> </ul>
		運営の工夫、成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天理市における高校中退者への支援についての社会資源を整理出来た。</li> <li>・教育機関と支援機関が意見交換を行うことにより、連携の必要性を確認出来た。</li> </ul>
3	10月16日	議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関の取組について</li> <li>・架空のケースにおける各関係機関の対応について</li> </ul>
		概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関が各々の取組、支援内容について説明をし、相互理解を深めた。</li> <li>・不登校、ひきこもりの架空ケースを用いて、各関係機</li> </ul>

回	日程	実施内容	
			関が支援対象者への関わり方について検討した。
		運営の工夫、成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>各関係機関から事前にヒアリングした取組、支援内容について一覧化、体系図化した情報を共有することにより、より顔の見える関係となった。</li> <li>各関係機関の取組、支援内容を把握した上で具体的なケースについて検討を行うことにより、直接支援に関わるだけでなく、知り得た社会資源との連携についての意識が高まった。</li> </ul>
		議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援機関マップについて</li> <li>個人情報保護と個人情報取扱に関する同意書（案）について</li> </ul>
4	11月29日	概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援機関マップについて説明の上、各関係機関の掲載に関する依頼をした。</li> <li>地域協議会における個人情報保護に関する説明及び、利用者の情報を地域協議会内で取り扱うために必要となる個人情報取扱に関する同意書（案）の提案を行い、意見を収集した。</li> </ul>
		運営の工夫、成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>前段のコースアドバイザー養成講習会にて「ネットワークと個人情報保護について」（大阪市若者自立支援事業コネクションズおおさか 高崎所長）でネットワーク及び個人情報保護の重要性を理解した上で、各関係機関の個人情報保護の必要性を再確認出来た。</li> <li>相談窓口を設置している関係機関の担当者から各現場での個人情報の取扱いについて確認し、個人情報取扱に関する同意書（案）の内容、利用者に同意を得るタイミング等の運用についても議論が出来た。</li> </ul>
		議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報取扱に関する同意書（案）について</li> <li>地域協議会設置要綱（案）について</li> </ul>
5	12月12日	概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回の同会議で収集した各関係機関からの意見をもとに、改修した個人情報取扱に関する同意書（案）について議論を行った。</li> <li>地域協議会設置要綱（案）をもとに、地域協議会の設置目的、機能、体制等について検討を行った。</li> </ul>
		運営の工夫、成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数班に分かれて議論にすることにより、発言が促され、率直な意見の収集が出来た。</li> <li>地域協議会の意義や機能、将来的に目指す方向性について理解の促進が図られた。</li> </ul>
		議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報取扱に関する同意書（案）について</li> <li>地域協議会設置要綱（案）について</li> <li>地域協議会名称、総合相談窓口名称について</li> </ul>
6	1月30日	概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4、5回の同会議で議論した内容をもとに作成した個人情報取扱に関する同意書（案）について確認を行った。</li> <li>地域協議会設置要綱（案）をもとに、地域協議会の全体像を確認した。</li> <li>地域協議会名称、総合相談窓口名称について参加者からアイデアを募り、地方企画委員会に向けた名称案を選</li> </ul>
		議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報取扱に関する同意書（案）について</li> <li>地域協議会設置要綱（案）について</li> <li>地域協議会名称、総合相談窓口名称について</li> </ul>

回	日程	実施内容	
			出した。
		運営の工夫、成果	・個人情報取扱に関する同意書（案） 地域協議会設置要綱（案）について実務担当者間での合意が得られた。
7	2月19日	議 題	・代表者会議の報告 ・事例検討
		概 要	・代表者会議で審議した結果を報告。個人情報保護に関する同意書案、地域協議会設置要綱案について再検討を行う旨、地域協議会名称、総合相談窓口名称について確定した旨を実務者に報告した。 ・学校との問題を抱える子ども、いわゆるニート・ひきこもりの模擬例をもとに、事例検討を行った。
		運営の工夫、成果	・代表者会議での結果報告を実務者で共有し、地域協議会設置にむけての方向性を確認した。 ・ユースアドバイザー養成講習会「アセスメントと支援計画」「ケース検討会のあり方」の後段に事例検討を行うことで、講習会での内容を意識しながら体感出来た。 ・ケース検討会議を日々実践している有識者から説明を受け、ケース検討会議の進め方について共有出来た。 ・実例に近い例をもとに事例検討を行うことでより実践に近いケース検討会議を実施出来た。

#### ウ ユースアドバイザー養成講習会

8月から3月にかけて全8日16コマで構成。奈良県内及び周辺地域を中心とした行政機関、民間団体の専門家や有識者を講師として選定し、情報支援に関する意識付けを促すとともに、地域資源とのネットワークの構築ができる内容とした。

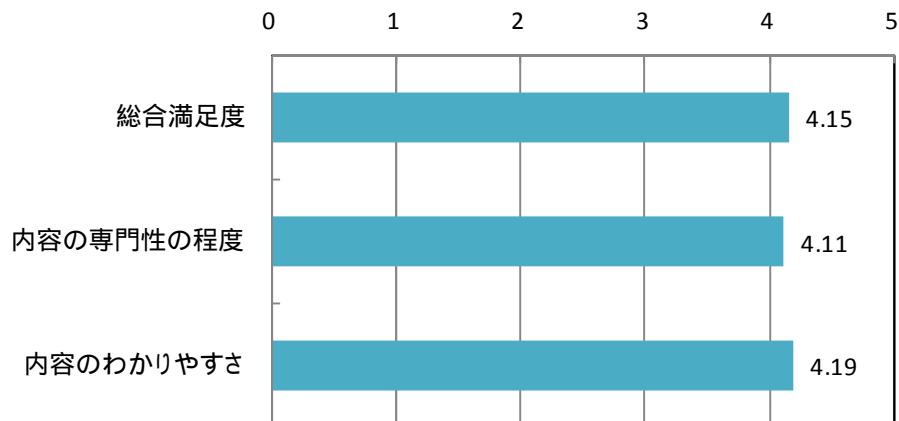
庁職員、教育機関や支援機関の実務者、市の保護司、民生委員、児童委員、一般公募等多岐にわたる対象者を募り、子ども・若者育成支援に関わる人材の育成に努めた。

図表 80 天理市ユースアドバイザー養成講習会実施内容

回	日程	講習内容	講師
1	8月22日	1. 制度の概要と事業の内容（30分）	講師：内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付参事官（青少年支援担当）付参事官補佐 鈴木和則
		2. 子ども・若者を巡る現状と自立支援の現状（90分）	講師：天理大学大学院臨床人間学研究科 教授 千原雅代
2	9月18日	1. 不登校並びに高校中退の現状と課題（60分）	講師：奈良県教育委員会生徒指導支援室 指導主事 山内祐司
		2. 不登校ひきこもりの克服にむけて（90分）	講師：NPO法人 関西少年自立支援センターNOLA 菊澤史代
3	10月16日	1. アウトリーチについて（90分）	講師：若者サポートステーションやまと 総括コーディネーター 原田秀昭
		2. 公的扶助について（60分）	講師：天理市社会福祉課 課長補佐 安居隆

回	日程	講習内容	講師
4	11月29日	1. ネットワークの構築と個人情報保護(70分)	講師: NPO 法人「育て上げ」ネット (コネクションズおおさか所長) 高崎大介
		2. 若者のメンタルヘルスについて(70分)	講師: 岡クリニック院長 岡留美子
5	12月12日	1. 発達障害者支援の現状と課題(90分)	講師: 奈良県発達障害支援センター「でいあ～」所長 森山貴司
		2. 若者層の就労をめぐる現状と課題(60分)	講師: ハローワーク奈良 所長 木村和男
6	1月30日	1. 若者の非行・犯罪・少年司法について(60分)	講師: 奈良県警察本部生活安全部少年課 課長補佐 村本宗重
		2. 薬物依存について(90分)	講師: 社団法人 GARDEN プログラムディレクター 久世恭詩
7	2月19日	1. アセスメントと支援計画(70分)	講師: NPO 法人青少年自立支援施設 淡路プラッツ 浅井紀久子
		2. ケース検討会のあり方(70分)	講師: NPO 法人青少年自立支援施設 淡路プラッツ 金井秀樹
8	3月4日	1. 効果的な面接法について(60分)	講師: 天理市教育総合センター人権文化係主査 中尾俊夫
		2. ユースアドバイザーの役割について(90分)	講師: NPO 法人「育て上げ」ネット 地域担当部長 井村良英

図表 81 ユースアドバイザー養成講習会の理解度・満足度  
(とても満足5、満足4、普通3、不満足2、とても不満足1)



図表 82 ユースアドバイザー養成講習会受講前後の知識・スキルの変化

講習内容	チェック項目	受講後	受講前	受講後に伸びた割合
制度の内容及び業務の内容	ユースアドバイザーの役割や若者支援ネットワーク構想の経緯を理解している	4.24	3.64	0.60
	支援者の実態を理解している	3.86	3.20	0.66
若者をめぐる状況と自立支援の現状	若者の自立支援の現状について理解している	4.14	3.65	0.49
労働環境について(職業紹介も含む)、就労支援について	不就労・早期離職を含めた雇用・就労をめぐる全般的な現状について理解している	3.95	3.48	0.48
不登校、高校中退について、若者のひきこもりについて	不登校、高校中退について、その特徴と対応の在り方について理解している	4.09	3.55	0.54
	若者のひきこもりについて、その特徴と対応の在り方について理解している	4.00	3.50	0.50
若者のメンタルヘルスについて(知的障害、発達障害、精神障害を含む)	知的障害、発達障害について、その特徴と対応の在り方について理解している	4.02	3.59	0.44
若者の非行、犯罪について、少年司法の仕組みについて	非行、犯罪について、その特徴と対応の在り方について理解している	3.95	3.49	0.46
公的扶助、障害者福祉の仕組み	公的扶助の仕組みを理解し、支援する際に活用できる	3.63	3.19	0.44
ネットワークの構築と個人情報保護について	若者支援ネットワークに望まれる特性について、その意義を理解している	4.14	3.51	0.63
ケース検討会のあり方	ケース検討会、担当者レベルでの会合の進め方について理解している	3.95	3.00	0.95
「動機付け面接」など効果的な面接方法の実習	グループワーク(グループを用いた支援)の意義やその概要を理解している	3.88	3.40	0.48
アウトリーチ(訪問支援)について	アウトリーチ(訪問支援)の目的や概要を理解している	4.12	3.36	0.75

エ 参加主体( 1～3それぞれの参加主体一覧)

図表 83 天理市における参加主体一覧

		教育	福祉	保健・医療	矯正・更生保護	警察	雇用	その他
地方企画委員会	機関	・市内県立高校代表校 ・天理市教育委員会学校教育課 ・天理市教育委員会生涯学習課 ・天理市教育総合センター ・天理市校園長会	・児童家庭支援センターてんり ・天理市児童福祉課 ・天理市社会福祉課 ・天理市民生児童委員連絡協議会	・天理市健康推進課	・天理地区更生保護女性会 ・天理地区保護司会	-	・天理市商工課	・天理市地域安全課 ・若者サポートステーションやまと
	個人	-	-	-	-	-	-	-
定例会議	機関	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
	個人	-	-	-	-	-	-	-
養成講習会	機関	地方企画委員会・定例会議の参加機関を始めとして、市の保護司、民生委員・児童委員、一般公募者等に幅広く参加していただいた。						
	個人							

#### (4) 今年度事業の成果

##### ア 地域における若者支援に関する社会資源の把握及び支援人材の育成

庁職員、教育機関や支援機関の実務者、市の保護司、民生委員、児童委員、一般公募等様々な人材が周辺地域の社会資源について知り得る機会を提供出来た。ユースアドバイザー養成講習会では全体を通して平均出席率が90.1%（平成25年2月時点）となり、子ども・若者育成支援に関する問題意識や知識を高める結果となった。

##### イ 関係機関の連携の素地づくり

全7回の定例会議を通じて、関係機関の支援内容、強みや弱みについて相互理解を深めた。関係機関が顔の見える関係となり、支援をする上で連携が必要となった場合にリファーしやすい関係が構築された。

##### ウ 地域協議会の全体像の検討

定例会議及び地方企画委員会を通して地域協議会の設置意義について共有出来た。今後設置を予定している地域協議会の機能、体制等の全体像について共有し、各関係機関の理解を得るとともに、合意形成へのアウトラインが確認出来た。

#### (5) 協議会設置に向けた課題（今年度設置した地域は、設置後の課題）

##### ア 協議会設置に向けた合意形成

関係機関で議論を重ねることで地域協議会の設置意義や機能、体制等については共通理解が図られた。各関係機関が連携して効果的な支援を行っていくための情報共有の仕組づくりについて検討し、各関係機関から合意を得る必要がある。また、利用者にも地域協議会について知ってもらう必要があるため、情報発信についても検討の必要がある。

##### イ 子ども・若者総合センターの体制整備

総合相談センターの設置に向けた準備を進めていく必要がある。総合相談センターへの人材配置や、地域の人への情報発信について検討・決定していく必要がある。

##### ウ 予防・発見・誘導のための活動、体制の構築

市内での義務教育後の若者についての実態は把握できていない状況である。困難を抱える子ども・若者をいかに早期に発見し、適切な支援機関につなげるかということは大きな課題である。困難を有する子ども・若者を抱えているということを周りに知られたくないと感じている家庭も少なくないと想定される。このような土壌の中で、今年度の事業で育成されたユースアドバイザーの活用も含めて、子ども・若者を見守り、必要な支援につなげる体制や仕組作りを検討する必要がある。